

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県宝塚市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	透け透析	救急・臨時・災地・輪番
人口（人）	建物面積（m <sup>2</sup> ）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
228,934	31,903	非該当	非該当	7 : 1

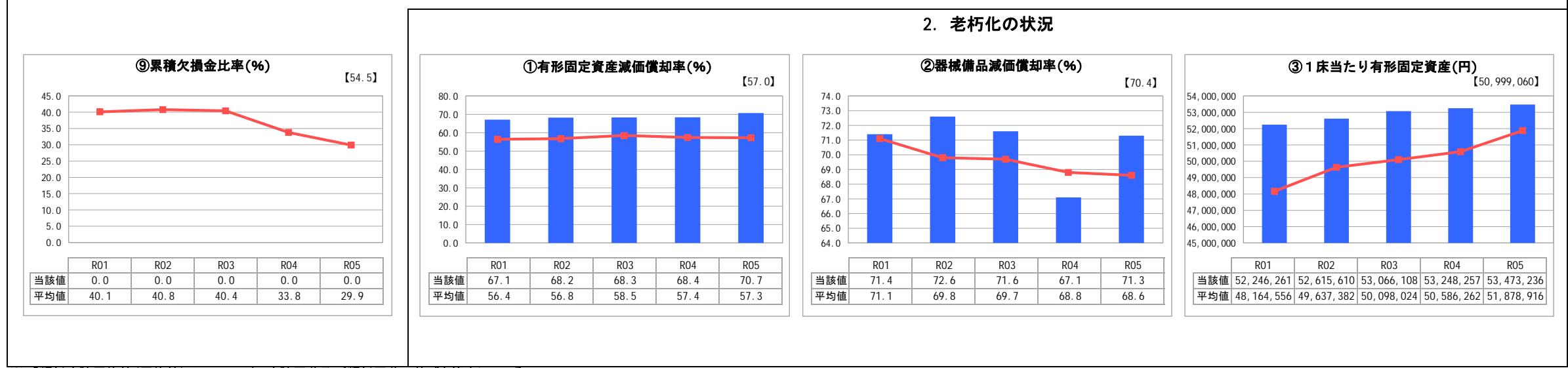
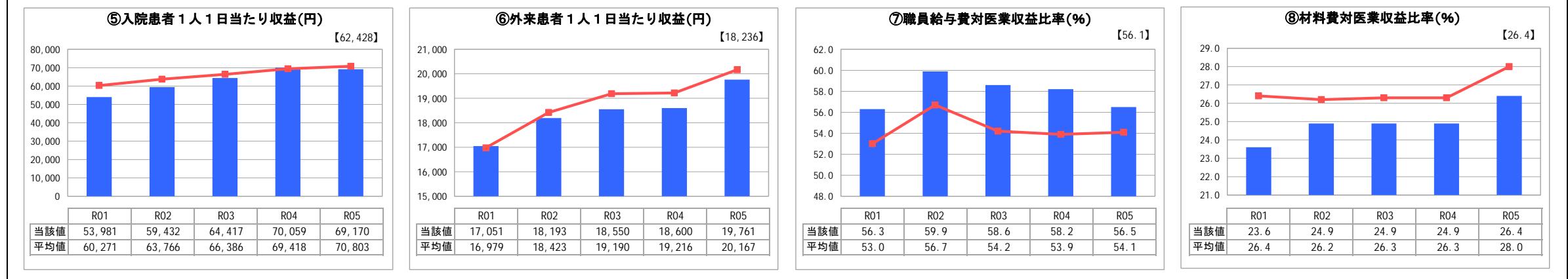
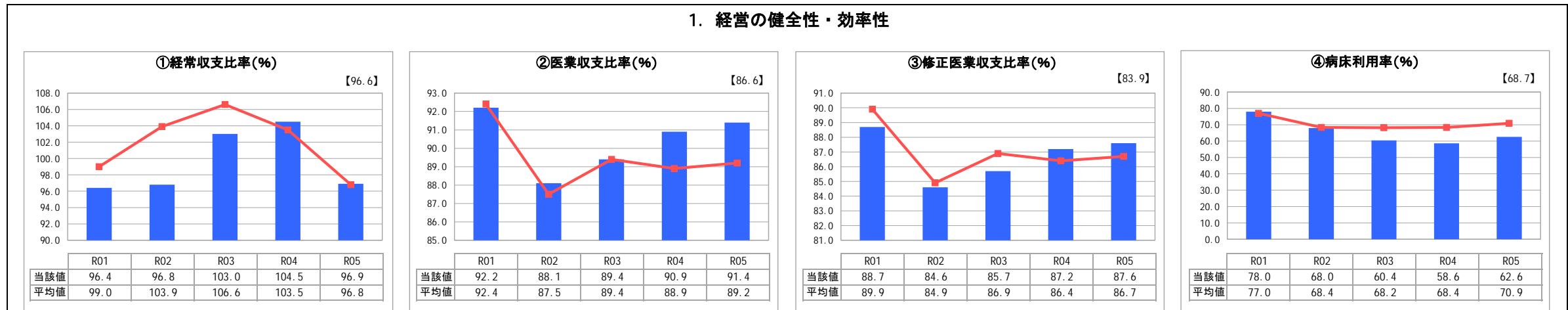
※1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU 未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線) 診療

※2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...べき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
436	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	436
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
331	-	331

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。



経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）		
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

### I 地域において担っている役割

高齢化が益々進行する中、市民が安心して暮らしていくよう、良質な急性期医療を提供し、急救受入体制とがん診療体制を提供しています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して医療資源を効率的に活用するとともに、5疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）に対する医療需要の増加に対応しています。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、コロナ禍で悪化していた病床利用率が上向きに転じ、入院単価は前年度比ほぼ横ばいで推移しました。物価高騰の影響で材料費対医業収益比率は前年度比1.5ポイント上昇した一方、主に看護師の退職により職員数が減り、職員給与費対医業収益比率は前年度比1.7ポイント低下しました。

結果、医業収支比率は前年度比0.5ポイント改善しました。新型コロナウイルス関連補助金の大幅な減少に伴い経常収支比率は前年度比で7.6ポイント悪化したものの、類似病院平均値並みにとどまりました。改善に向けさらなる增收に取り組み、今後の健全経営につなげてまいります。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、昭和59年（1984年）に竣工した建物の減価償却が進んでいるため類似病院よりも高くなっています。器械備品減価償却率は令和4年度に実施した電子カルテの大規模改修及び透析機器更新の減価償却が令和5年度から始まったため大幅に増加し、令和5年度は類似病院の平均を上回っています。

1床当たり有形固定資産が平均値より高いのは、敷地面積及び建物の延べ床面積が類似病院より大きいこと及び許可病床数が過去の480床から減少していることが要因と考えられます。

医療機器は耐用年数の経過した機器の更新や最新機器の整備を継続的に行えていますが、施設設備については特に給排水管などの配管類の更新工事は困難なため老朽化が著しい状況にあります。

#### 全体総括

令和5年5月8日に感染症法上の5類感染症に移行し、新型コロナウイルス感染症専用病棟を一般病棟に戻しましたが、入院患者数はコロナ禍前に比べ依然として大きく下回りました。この原因是、看護師不足による一部病棟閉鎖が最も大きいと捉えています。

令和6年3月に策定した「宝塚市立病院経営強化プラン」（計画期間：令和6年度から令和9年度）のとおり、老朽化した配管の改修工事を行うため、一部病棟閉鎖は継続しますが、改修後には全ての病棟を運用できるように必要な看護師を確保します。

当院が果たすべき役割・機能に沿い、新たな医療機器の導入、効率的な病院運営、患者サービスの向上等により健全経営を行うとともに、新病院の整備を行うこととし、今後も市民が必要とする医療を継続して提供してまいります。